

1. 件名：福島第一原子力発電所における1号機PCV内部調査に係る面談
2. 日時：令和2年1月29日（水）14時00分～14時40分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官、松井安全審査官、田上審査係

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当2名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、1号機原子炉格納容器（PCV）の内部調査に係るアクセスルート構築作業の状況について、以下のとおり説明があった。
 - 昨年に原子炉建屋1階のX-2ペネトレーションにおいて、孔あけ加工機（アブレシブウォータージェット）による切削作業を行ったが、作業監視用ダストモニタの値が管理値に達したことから、ダスト濃度上昇要因を調査することを目的に切削作業を慎重に行い、ダスト濃度のデータ収集を行っていたところ。
 - 今回、これまでに得られた知見（噴射位置から遠く、PCV内構造物に噴射した水が当たる面積が小さい時はダスト飛散が少ないこと等）を踏まえ、データ拡充のため切削作業を実施し、その結果、切削角度を最大30度にて作業を行ってもダスト濃度は管理値を下回ったこと。
 - 今後、更に切削作業を行い順調に進めば、本年2月中には現在切削している孔は貫通できる見込みであること。
- 原子力規制庁は上記説明内容を確認し、引き続き作業状況の報告を行うことを求めた。

6. その他

資料：

- 1号機PCV内部調査にかかるアクセスルート構築作業の状況